

安全データシート

改訂日:2021年9月22日

1. 化学品及び会社情報
化学品の名称(製品名)
会社名
住所
電話番号

ポリエチレングリコール1000
米山薬品工業株式会社
大阪府中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
FE0173

整理番号

2. 危険有害性の要約
GHS分類
健康に対する有害性
GHSラベル要素
絵表示又はシンボル
注意喚起語
危険有害性情報
注意書き

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:区分2B

なし
警告
眼刺激
【安全対策】
取扱い後はよく手を洗うこと。
【応急措置】
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報
化学物質・混合物の区別
化学名又は一般名
別名
化学式
化学物質を特定できる一般的な番号
濃度又は濃度範囲(含有率)
官報公示整理番号(化審法/安衛法)

化学物質
ポリエチレングリコール(平均分子量1000)
PEG1000
 $\text{H}(\text{OCH}_2\text{CH}_2)_n\text{OH}$
CAS RN:25322-68-3
ポリエチレングリコール99.9%以上 酸化防止剤(非公開)0.1%未満
(7)-129

4. 応急措置
吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
必要に応じ医師の診断を受ける。
石けん水、水で十分洗い流す。
必要に応じ医師の診断を受ける。
直ちに清浄な流水で15分以上洗眼し、医師の診断を受ける。
飲料水でうがいした後、十分な飲料水を飲ませる。意識のない場合は口から何も与えてはならない。速やかに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

眼に入った場合
飲み込んだ場合

5. 火災時の措置
適切な消火剤
使ってはならない消火剤
火災時の措置に関する特有の危険有害性

粉末消火剤、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、噴霧水
該当情報なし。
燃焼ガスには一酸化炭素等の有害物質が含まれるので、消火の際には煙の吸入を避ける。
火元への燃焼源を絶ち、適切な消火剤を使用して消火する。
消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。
消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

特有の消火方法

消火を行う者の保護

6. 漏出時の措置
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。
風上に留まる。
密閉された場所に立入る前に換気する。
河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
個体の場合、ほうきなどで掃き集め、密閉できる空容器に回収する。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材

二次災害の防止策

液体の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。
該当情報なし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体排気)

安全取扱い注意事項

接触回避

衛生対策

保管

安全な保管条件

防爆型の機器を使用すること。

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。

適切な保護具を着用する。

接触、吸入又は飲み込んで서는ならない。

眼との接触を避ける。

強酸化剤

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。
保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。

保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。

保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ、適切なためますを設けること。

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。-禁煙。

容器を密閉して換気の良いところで貯蔵すること。

ガラス

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度(出典)

管理濃度

日本産業衛生学会

ACGIH

設備対策

保護具

呼吸用保護具

手の保護具

眼の保護具

皮膚及び身体の保護具

特別な注意事項

未設定

未設定

未設定

取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。作業場近くに手洗等の設備を設ける。

該当情報なし。

必要により有機溶剤用マスクを着用する。

保護手袋(耐薬品、耐油、耐溶剤)を着用する。

保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用する。

静電気防止加工長袖作業衣を着用する。

該当情報なし。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

色

臭い

融点・凝固点

沸点、初留点及び沸騰範囲

可燃性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

引火点

自然発火温度

分解温度

pH

動粘性率(粘度)

溶解度

n-オクタノール/水分配係数

蒸気圧

密度及び/又は相対密度

相対ガス密度

その他のデータ

塊状個体(25℃) 透明な液体(60℃)

—(物理状態参照)

該当情報なし。

35~39℃(凝固点)

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

259℃(COC)

該当情報なし。

該当情報なし。

4.0~7.0(5%水溶液)

該当情報なし。

水に可溶

該当情報なし。

該当情報なし。

1.100(60℃)

該当情報なし。

動粘度: 17~20mm²/S(98.9℃)

10. 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性

危険有害反応可能性

避けるべき条件

混触危険物質

危険有害な分解生成物

該当情報なし。

熱、光、衝撃に対して安定である。

強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

火気、高温、日光

強酸化剤

該当情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 呼吸器感作性又は皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性(単回暴露) 特定標的臓器毒性(反復暴露) 誤えん有害性	経口:	ラット LD ₅₀ 16000-44000mg/kg(区分外) 該当情報なし。(分類できない) ウサギの眼に軽度の刺激性(マイルド)24~48hで回復(区分2B) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報 生態毒性	短期: (急性) 長期: (慢性)	該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意 化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上 望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意 国連番号 品名(国連輸送名) 国連分類 容器等級 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 国内規制がある場合の規制情報 陸上輸送 海上輸送 航空輸送 応急措置指針番号	— — — — 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がない よう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。 消防法の規定に従う。 船舶安全法の規定に従う。 航空法の規定に従う。 —	
15. 適用法令 化学物質管理促進法(PRTR法) 毒物及び劇物取締法 労働安全衛生法 消防法		指定化学物質に該当しない。 毒物及び劇物に該当しない。 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。 危険物に該当しない。
16. その他の情報 参考文献		16615の化学商品 化学工業日報社 界面活性剤の安全性及び生分解性に関するデータシート集(日本界面活 性剤工業会) 洗剤の毒性とその評価(厚労省環境衛生局食品化学課)
その他		記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではあり ません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ 等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありま せんので取り扱いには十分注意して下さい。